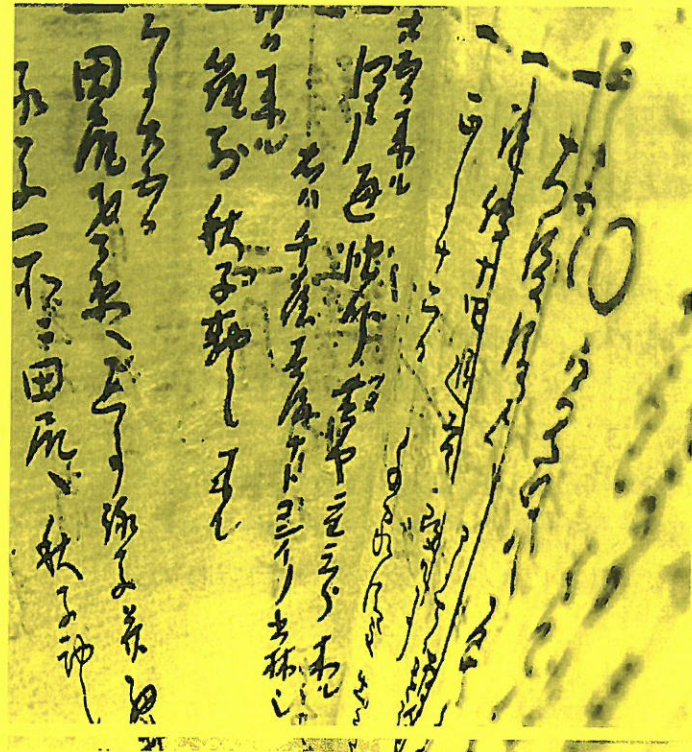




講師 鈴木 俊幸 氏

中央大学教授・NHK 大河ドラマ「べらぼう」版元考証

蔦屋重三郎の全国展開

無料

令和7年度 本居宣長記念館 夏の公開講演会

【岡田文化財団助成事業】

と本居宣長

2025 年

8月31日 日

14:00~15:40 (13:15 開場)

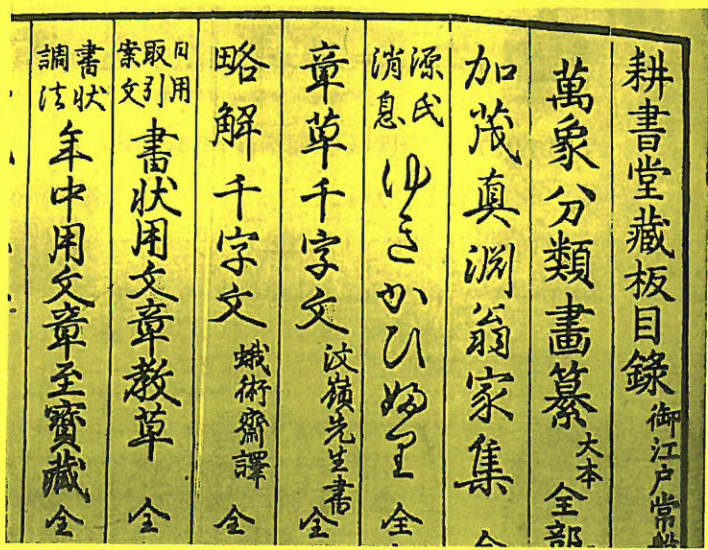
松阪市産業振興センター

3階研修ホール 三重県松阪市本町 2176

定員 190 名 (事前予約制)

※申込開始日: 7月15日 (火)

申込方法: 本居宣長記念館 HP・来館・TEL



主催 本居宣長記念館 後援 松阪市 松阪市教育委員会

蔦屋重三郎の全国展開と本居宣長

蔦屋重三郎は、江戸という都市に居住する人たちを主な対象にした草紙（地本）の商いを行っていた。しかし、寛政期になって書物問屋に加入し、書物商売も手掛けるようになり、江戸以外との取引を行い始める。農村部を含めて日本全体に平易な教訓本の需用が高まってきたことと、学問への志向が強まってきたこととを感じ取っての挙であったと思われる。名を高めた山東京伝に教訓的な黄表紙を作らせて江戸以外の市場の開拓を試みたり、また、名古屋永楽屋東四郎と提携関係を築き、名古屋の新風を江戸に吹き込んだりしたのである。そして、永楽屋を介して積極的に手掛けようとしたのが本居宣長の著作であった。

鈴木 俊幸 氏

1956 年札幌市生まれ。中央大学に学び、現在中央大学文学部教授。

専門は近世後期文芸・書籍文化史。

2005 年日本出版学会賞、2008 年ゲスナー賞、2013 年岩瀬弥助記念書物文化賞受賞。2019 年『近世読者とそのゆくえ』で第 27 回やまなし文学賞（研究・評論部門）受賞。著書に、『蔦重出版書目』（1998 年、青裳堂書店）、『一九が町にやってきたー江戸時代松本の町人文化ー』（2001 年、高美書店）、『江戸の読書熱ー自学する読者と書籍流通ー』（2007 年、平凡社）、『絵草紙屋 江戸の浮世絵ショップ』（2010 年、平凡社）、『江戸の本づくし 黄表紙で読む江戸の出版事情』（2011 年、平凡社）、『新版 蔦屋重三郎』（2011 年、平凡社）、『書籍流通史料論 序説』（2012 年、勉誠出版）、『近世・近代初期 書籍研究文献目録』（2014 年、勉誠出版）、『近世読者とそのゆくえー読書と書籍流通の近世・近代』（2017 年、平凡社）、『信州の本屋と出版ー江戸から明治へ』（2018 年、高美書店）、『書籍文化史料論』（2019 年、勉誠出版）、『蔦屋重三郎』（2024 年、平凡社）、『本の江戸文化講義』（2025 年、KADOKAWA）等。

お問い合わせ



公益財団法人鈴屋遺蹟保存会

本居宣長記念館

Museum of Motoori Norinaga

〒515-0073 三重県松阪市殿町 1536-7

☎ 0598 (21) 0312

受付時間 9:00~17:00

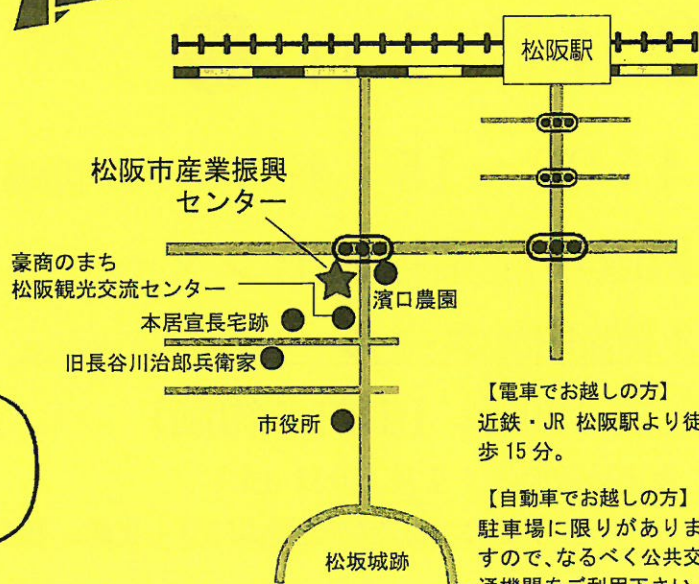
<https://www.norinagakinenkan.com>

記念館 HP



※本居宣長記念館 HP から申し込み・お問い合わせが 可能です。

会場へのアクセス



【電車でお越しの方】
近鉄・JR 松阪駅より徒歩 15 分。

【自動車でお越しの方】
駐車場に限りがありますので、なるべく公共交通機関をご利用下さい。

会場の産業振興センターは、私・宣長の家が合った場所のすぐ近くじゃ。蔦屋重三郎が歩いてた町を散策しながら、会場まで来ておくれ。